

まさかつじんじゃふるみや  
77. 當勝神社古宮

■ 指定日

昭和47年4月1日

■ 種別

有形文化財 建造物

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市山東町粟鹿

■ 所有者

當勝神社



■ 内容

現當勝神社本殿ができるまでの神社本殿。その建築沿革や遷宮縁起などには確証がなく、その詳細を知ることはできない。様式手法から江戸中・後期のものとみられる。なお、別に保存されている懸魚の裏には、寛延2年(1749)の文字が見られる。

礎石建ちの三間社流造り。屋根は桧皮葺であるが、今はトタン葺の簡単な覆屋をかけている。柱は唐様で、頭貫などに若草模様が見える。組物は、唐様三手先詰組で構成されるが、肘木からつくり出された尾垂木や木鼻の各種彫刻は、近隣に類をみないほど多種多様で、当時の工匠の技が存分に発揮されているといえる。

また、妻飾りには墓股、大瓶束を配し、にぎやかな装飾を施している。縁の腰組は、手先をのばした挿肘木で処理されており珍しい。